


接着系アンカー(無機系・回転打撃型・ガラス管式)

認証取得者	岡部株式会社	
所在地	東京都墨田区押上 2-8-2	
連絡先	Tel:03-3621-1611 Fax:03-3621-1616	
商品名	C・C&アンカー E	
接着剤の材質	特殊セメント	
認証種類	タイプ B	
認証番号	第17-0012号	
認証有効期間	平成 29 年 1 2 月 1 日～平成 34 年 11 月 30 日	

別添資料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 [mm]	カプセル長 [mm]	内容量 [g]	アンカー筋	ドリル径[mm]		穿孔深さ[mm]	
					径	許容差	穿孔深さ	許容差
CC-10R	10.5 (±0.5)	90 (±3.0)	13.0 (-0.0、+1.3)	D10	13	-0, +0.4	90	±4.5
CC-13R	13.0 (±0.5)	100 (±5.0)	20.5 (-0.0、+2.0)	D13	16		100	±5.0
CC-16R	16.5 (±0.5)	130 (±5.0)	43.5 (-0.0、+4.3)	D16	20.5		130	±6.5
CC-19R	20.0 (±0.5)	160 (±5.0)	80.5 (-0.0、+8.0)	D19	25		160	±8.0
CC-13RL	13.0 (±0.5)	145 (±5.0)	29.0 (-0.0、+2.9)	D13	16		145	±7.2
CC-16RL	16.5 (±0.5)	175 (±5.0)	61.0 (-0.0、+6.1)	D16	20.5		180	±9.0
CC-19RL	20.0 (±0.5)	220 (±5.0)	111.0 (-0.0、+11.1)	D19	25		220	±11.0
CC-22RL	23.0 (±0.7)	230 (±5.0)	148.0 (-0.0、+14.8)	D22	28		245	±12.2
CC-25RL	25.0 (±0.7)	270 (±5.0)	208.0 (-0.0、+20.8)	D25	32		275	±13.7

【アンカー筋の強度、ねじ等級】

1. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	規格降伏点 [N/mm ²]	引張強さ [N/mm ²]	伸び率 [%]
SD295A	JIS G 3112	295 以上	440~600	16 以上 (2号試験片)
				17 以上 (14A号試験片)
SD345	JIS G 3112	345~440	490 以上	18 以上 (2号試験片)
				19 以上 (14A号試験片)

2. アンカー筋の適用範囲

製品仕様			試験に用いた仕様	
種類	材質	サイズ	材質	サイズ
異形棒鋼	SD295A	D10~D16	SD295A	D10~D16
	SD345	D19~D25	SD345	D19~D25

接着系アンカー(無機系・回転打撃型・ガラス管式)

認証内容

構成部品	項目 1	カプセル容器	材 質	ガラス
			形 状	別添資料による。
			寸法及び許容差	別添資料による。
			製品重量及び許容差	別添資料による。
	項目 2	接着剤関連	材 質	特殊セメント
			強 度	$\tau_{fu} \geq 10 \sqrt{\sigma_B / 21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] τ_{fu} : 付着強度計算値 (N/mm ²)、 σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)
	項目 3	接着剤関連	物 性	圧縮強さ 29.4N/mm ² 以上 曲げ強さ 4.9N/mm ² 以上
項目 4	アンカー筋関連		種 類	鉄筋コンクリート用棒鋼 (JIS G 3112) D10, D13, D16, D19, D22, D25
		先端形状	片面 45 度斜めカット	
		外 観	下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないこと。 2) 油じみがないこと。 3) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。	
項目 5	アンカー筋関連	材 質	鉄筋コンクリート用棒鋼 (JIS G 3112): SD295A (D10, D13, D16), SD345 (D19, D22, D25)	
		表面処理	無し	
項目 6		強 度	降伏点・引張強さ・伸び率	別添資料による。
		ねじ等級	-	
製品	項目 7	ドリル径および許容差	別添資料による。	
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。	
	項目 9	母材の種類	普通コンクリートとする。	
	項目 10	設計基準強度の範囲	18 N/mm ² 以上、36 N/mm ² 以下。	
	項目 11	環境条件 (固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。	
	項目 12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式 (1) から式 (3) に対して 95% 以上の信頼性を有している。 $T_{oc} = 0.23 \sqrt{\sigma_B \cdot A_c}$ …式 (1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot \ell_e$ …式 (2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_o$ …式 (3) [記号] T_{oc} : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_c : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) (= $\pi \cdot \ell_e \cdot (\ell_e + d_a)$) T_{cb} : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) τ_a : 付着強度 (N/mm ²) で、次式による。 (= $10 \sqrt{\sigma_B / 21}$) ℓ_e : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) (= $L - d_a$) L : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 d_a : アンカー筋の外径 (mm) T_{tu} : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) (= $1.1 \sigma_y$) σ_y : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_o : アンカー筋の最小断面積 (mm ²)	
	項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を 95% 以上の信頼性を持って満足している。 $\min. \{ 2/3 \cdot T_{my}, 0.4 T_{oc}, 0.4 T_{cb} \}$ 時における軸方向の変位量 δ が、0.3 mm 以下 $\min. \{ T_{my}, 0.6 T_{oc}, 0.6 T_{cb} \}$ 時における軸方向の変位量 δ が、1.0 mm 以下 [記号] T_{my} : アンカー筋の降伏引張耐力 (= $\sigma_y \cdot a_o$)	
	項目 14	せん断耐力算定式	次式に対して、95% 以上の信頼性を有している。 $Q_{nc} \geq 0.4 \sqrt{E_c \cdot \sigma_B \cdot s \cdot a_o}$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm ²) $Q_{tu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s \cdot a_o$ [記号] Q_{nc} : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) $s \cdot a_o$: アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{tu} : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm ²)	
	項目 15	せん断剛性	0.6 Q_{nc} 時又は 0.6 Q_{tu} 時における水平変位量が 5mm 以下又は 0.3 d (d : アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95% 以上の信頼性を持って満足している。	

[注] 項目 1 ~ 15 は、評価認証審査項目を示す。